

2024

2/1

February

No.428

# 市報 やまぐち



特集	大学×地域で広がる人材育成	2
特集	みんなでつくる循環型のまち山口	6
	■市政トピックス	8
	■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	9
	■新本庁舎棟建設トピックス	10

# 大学×地域で広がる人材育成

本市では、大学をはじめとする多くの高等教育機関が立地しているという本市の特性を生かした学都山口のまちづくり連携や学びのまちづくり、人材育成を進めています。

今回は、市内に立地する3大学と連携して進めている人材育成の取り組みや、各大学が取り組まれている人材育成事業についてご紹介します。

問 スマートシティ推進室 ☎ 083-934-2728

産学官金で取り組む人材育成

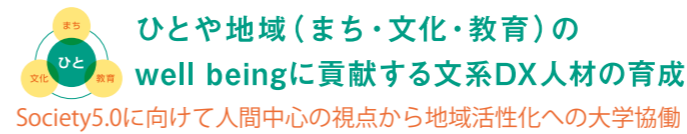
本市では、これまで、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の市内3大学それぞれとの間で包括連携協定を締結し、地域課題の解決や市民サービスのより一層の向上を目指した幅広い分野において、連携を図りながらさまざまな取り組みを進めてきました。こうした中、令和4年11月には、これらの市内3大学、産業界、金融機関、本市で構成する、「やまぐち地域共創プラットフォーム」を設置しました。本プラットフォームでは、市内の産学官金が一体となった恒常的な議論の場を構築し、地域課題を共有・把握するとともに、地域の人材育成や課題解決を図る取り組みを進めています。



第1回全体会議(令和4年11月)

▲左から、山口銀行山口支店小野支店長、山口商工会議所河野会頭、市長、山口大学谷澤学長、山口県立大学田中学長、山口学芸大学三池学長

▼市内3大学の連携による「文系DX人材」の育成イメージ図



全国初の国公立大学による一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム 令和5年3月設置

<p><b>文化まち 山口県立大学</b></p> <p>国際文化学部の再編情報社会学科(仮称)の新設 —令和7年4月設置予定— (養成する人材) 地域社会の未来をデザインし、人々の暮らしのDX推進に貢献できる人材</p>	<p><b>まちひと 山口大学</b></p> <p>ひと・まち未来共創学環(仮称)の新設 —令和7年4月設置予定— (養成する人材) 人間の心理・行動の理解と地域社会に対する分析力を基礎として地域課題の発見と解決ができる文系DX人材</p>	<p><b>教育文化 山口学芸大学</b></p> <p>文系DX教員養成プログラムの新設 —令和6年4月開始予定— (養成する人材) 将来のDX推進に貢献できるSTEAM人材を育てる教員 ※本稼働は令和8年4月</p>
---	---	--

分野横断・地域課題PBL(アントレプレナー教育含む)…3大学共同開設…

連携開設 SPARC教育プログラム DXによるPBL教育 STEAM教育

今年度は、「一部活動地域移行」と「新しい創出」をテーマとして、部活動の地域移行の課題の一つである指導者不足の解消や、大学生をはじめとした若者のまちづくりや市内イベント等への参画の方策などについて検討を進めています。

3大学によるSPARC教育プログラム

現在、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の3大学が連携し、「ひとや地域(まち・文化・教育)のwell being(一人一人の多様な幸せと社会全体の豊かさ)に貢献する文系DX人材の育成事業」が進んでいます。これは、地域課題を適切に捉え、デジタル技術に精通した人材と協力してDX(デジタル技術を活用し、多くの

人の生活やビジネスをよりよいものと変えていくこと)を実践し、課題解決に貢献できる「文系DX人材」の育成を目指すものです。

本事業は、令和4年8月、文部科学省「地域活性化人材育成事業」SPARC」に採択されています。

3大学による本事業の取り組み状況などが、専用ページで発信されています。詳しくは、下の二次元コードからご覧ください。



## Case. 1 やまぐち未来デザインプロジェクト 山口県立大学×山口市



▲「やまぐち未来デザインプロジェクト」の授業風景。今年度は、市の職員約10人が参加し、学生チームへの情報提供や助言を行いました。

### やまぐち未来デザインプロジェクト専用ページ

プロジェクトの最新の情報を山口県立大学の専用ページで発信されています。詳しくは、「やまぐち未来デザインプロジェクト」で検索または右の二次元コードから▶



山口県立大学では、全1年生を対象に、必修科目として、「やまぐち未来デザインプロジェクト」に取り組みられています。

本プロジェクトは、授業の中で、全学科混成のチームで、「人口減少社会をどうデザインすべきか」をテーマにグループワークを行い、外部専門家や自治体職員の助言も受けながら、地域課題の解決に向けた多様なアイデアを

創出するものです。グループワークで生まれたアイデアは、ポスター展示・発表により発信されています。

今年度は、「サード・プレイス」「交流」「健康」「グリーン(環境)」をテーマに演習を実施されました。本市からは関係部署の職員を派遣し、地域が抱える課題の情報提供や、学生チームのアイデアに対するアドバイスをを行いました。

行う力、責任感を持って行動する力、課題に取り組む際に方法や手順を自己決定できる力が着実に伸びてきています。

こうした力は、必要な知識が常に移り変わる現代社会においても、基盤として大切なものです。専門課程の学びや仕事の駆動力となることを期待しています。

### Q 今後の目標や展望をお聞かせください。

「やまぐち未来デザインプロジェクト」は、令和5年度から、三菱みらい育成財団の「21世紀型教養教育」として採択され、支援を受けています。授業に多彩なゲストをお呼びすることが可能となり、良い刺激を受けています。

そして、市の職員の皆さんからも学生にアドバイスをいただいております。学外とつながることは、学生にとっても教員にとっても有意義だと感じています。

本学では、令和7年度から情報社会学科の設置を計画しています。また、全学をあげて、文系DX人材の育成に力を入れています。

今後、これまで以上に、データ・根拠に基づく発想ができるよう、学生たちを導いていきたいと思っています。

### Interview.



山口県立大学  
国際文化学部・学長補佐  
(基盤教育担当)  
池田 史子さん

### Q プロジェクトを通して、どのような能力の成長が期待されますか。

前期の授業では、地域社会が抱える諸課題の理解や、それらを解決するために必要となる基礎的なアカデミックスキルを身に付けるようにしています。情報を収集したり、書いたり、話したりすることによって、根拠に基づく課題解決策を、論理的に分かりやすく伝える能力の成長が期待できます。

後期の授業では、5学科混成チームで、地域社会変革のアイデアを創出する活動を行います。自分とは異なる知識を持つ仲間と協働することで、自分が身に付けてきた知識やものの見方・考え方を相対化することになり、批判的思考やものごとを客観的に判断する力が身に付きます。

### Q プロジェクトでの経験が、学生の皆さんの今後にどのように活かされることが期待されますか。

この授業に取り組むことによって、自己調整を

## Case. 2 ゆだづくしプロジェクト

山口大学 国際総合科学部 × 湯田温泉 料飲社交組合 × 山口市



▲プロジェクトに参加した学生が飲食店で取材をする様子

### ゆだづくし Instagram

「ゆだづくし」で検索または右の二次元コードから▶



▲ Instagram 画面イメージ

山口大学国際総合科学部では、3・4年生を対象に、卒業研究としてプロジェクト型課題解決研究に取り組みられています。これは、学生が主体となり、大学で学んだ知識・理解、デザインプロセス、コミュニケーション能力、課題発見・解決能力を活用し、実社会でのプロジェクトを企画・実践するものです。テーマに応じて、プロジェクトのパートナーとして、自治体や民間企業、NPO法人等へ参画・協力の依頼をされています。

昨年、この卒業研究として、湯田温泉が多くの学生でにぎわうよう、学生の視点で、湯田温泉の飲食店の情報発信を行う「ゆだづくしプロジェクト」を企画・実施されました。学生が自ら取材した飲食店の情報や、大学生限定のクーポン情報などを、Instagramで発信されています。

### Interview.



山口大学 国際総合科学部4年 「ゆだづくし」プロジェクトメンバーの皆さん

Q「ゆだづくし」はどのようなことを目指して企画されましたか。

高校を卒業し、新しい環境で、多くの学生が楽しく充実した大学生活を送りたいと思い描いています。私たちも同じ大学生として、こうした学生の想いに深く共感し、「大学生活をより充実させる」をプロジェクトのテーマとしました。

Qプロジェクトの実現までに苦労したことを教えてください。

飲食店への取材やInstagramの投稿制作・広報活動等を、多くの関係者の方々と共同で進めていくことの難しさがあったと思います。自分たちが単独で前に進めるだけでは、決してプロジェクトの目標を達成することはできないことをメンバー全員が感じました。

そして、このプロジェクトを支援してくださった関係者の方々には大変感謝しています。湯田温

泉料飲社交組合・飲食店の皆さんには、学生が頑張っているなら、と快くプロジェクトにご協力いただきました。また、市の職員の方には、日頃から私たちの意見をしっかり聞いていただき、的確なアドバイスをいただきました。

Q今回の経験をこれからどのように生かしていきたいですか。

プロジェクトでは多くの関係者の方々と接する機会が多いため、相手の立場になって物事を考えることが非常に大事だと感じました。例えば、文書を作成する時も、形式や言葉遣い等、読む相手が理解できるように表現を工夫する必要があります。これから就職して社会で生きて行く上で、いかに相手の立場になって考えられるかが重要であり、私たちにあって学びになっていると感じています。

また、日々新しいことへの挑戦・失敗を繰り返すことで、考えながら行動する思考が身に付いたと感じています。卒業研究では、主に「デザイン思考」という方法を用い、ターゲットが何を欲しているか、どのような問題を抱えているのかをさまざまな調査手法で模索し、解決策を創造します。こうした「デザイン思考」は、就職後も課題解決に応用することができると感じています。

## Case. 3 大学生のアイデア・パワーを生かした地域づくり

山口学芸大学 × 名田島自治会連合会



①山口学芸大学と名田島自治会連合会とのPBLの実施に関する覚書調印式の様子（左から、山口学芸大学岡村副学長、名田島自治会連合会佐分利会長）／②地域のお祭りにスタッフとして参加した学生／③フィールドワークで地域の朝市について話を聞く学生

山口学芸大学では、令和2年度から2年間、ICTを活用した地域社会の活性化をテーマに、名田島地域をフィールドとして、防災アプリの開発やSNSを活用した緊急連絡網、地域の情報発信などに取り組みられました。

そして、昨年11月には、地域課題解決演習(PBL)のパートナーとして名田島自治会連合会と覚書を調印

### Interview.



名田島自治会連合会会長 佐分利 隆 さん

Q今年度の活動を教えてください。

12人の学生さんとフィールドワークを行い、名田島地域を実際に歩いて、どのような地域を紹介しました。名田島小学校の150周年記念イベントやちょうちんまつりなど、地域イベントの運営にも協力してもらいました。

また、学生さんの力をお借りして、地域のアンケートの集計・分析をしています。地域の住民だけでは気がつかないこともありますから、違った視点で見ってもらうことで、地域課題の発見にもつながると思います。



フィールドワークの様子

Q大学生と活動されて、どのような点が良かったですか。

学生さんの視点で思ったことやアイデアを自由に言ってもらって、それを実現できたのは良かったと思います。例えば、今年のちょうちんまつりで学生さんが運営したお化け屋敷も大変好評で、たくさんの方に楽しんでいただきました。

地域の皆さんにも、地域に若い人が来て何か活動をしているな、これまでとは違う新しい発想が出てきたな、と感じてもらえればと思います。

Q今後、学生の皆さんに期待することはありますか。

まずは、名田島という地域が皆さんの身近にあることを知ってもらうことが大切だと思います。

地域のことを知って、こういう面白い所があるんだ、と興味を持ってもらえたらと思いますし、地域の人と活動した経験を、学生の皆さんの今後の人生で生かしてもらえればうれしいですね。今後も、大学の皆さんと二人三脚で活動していきたいです。

### 若い力で地域をもっと元気に

今回は、市内の各大学が行われている地域課題の解決や地域の活性化を目指すプロジェクトなどを通して、大学生の学び、人材育成の取り組みの一部をご紹介します。

大学生の皆さんは、未来を担う人材であるとともに、地域を一緒に盛り上げていく上で欠かせない存在です。市内では、今回ご紹介した取り組みだけではなく、大学と市・地域の連携のもとさまざまなプロジェクトが展開されています。

市民の皆さんにはぜひ、市内で学ぶ大学生の皆さんのチャレンジに関心を持っていただき、応援していただければと思います。

### 学都山口 学びのまちづくり

本市には、大学のほか、山口情報芸術センター「YCAM」や、山口市産業交流拠点施設（KDDI維新ホール）、図書館などをはじめとするさまざまな社会教育施設が立地しています。そして、こうした施設などで、多様な人材育成や学びの機会が提供されています。

市では、「ずっと元気な山口」の実現に向け、今後も、大学や企業などとの連携も図りながら、未来を担う人材育成・学びのまちづくりを進めていきます。

## ごみの集積所は地域の皆さんの手で維持・管理されています



違反ごみ（プラ容器包装の中に洗われていないものが混入）

**管理をする上で困っていることはありませんか？**  
ほとんどの方にはルールを守っていただいています。ごく一部の方で

**「ごみの集積所の管理について、町内会ではどのような活動をされていますか？」**  
ごみ・資源の回収は、生活する上で欠かすことのできない重要なもので、市と地域の皆さんとの協働により成り立っています。町内会では、収集日前に集積所に散乱防止のためのネット設置や、市による収集後の後片付けを行うなど、みんなで協力して、管理を行っています。



高芝町内会 会長  
きもと たかゆき  
木本 隆行 さん



違反ごみは、町内会の方が分別されており、大変な負担となっています。

**「ごみを出すときに気を付けてほしいことはありますか？」**  
一人一人が少しずつ気を付けることが、きれいで住みよい地域づくりにつながると思います。

**「ごみを出すときに気を付けてほしいことはありますか？」**  
ごみの集積所は、大切な地域資源です。みんなでルールを守って利用していただきたいと思います。ごみの出し方で分からないことがあれば、ごみカレンダーで確認したり、ごみ情報ダイヤル（☎083・902・0033）に問い合わせたりするなど、今一度ルールを確認してほしいですね。

ですが、集積所に出してはいけないごみや、正しく分別されていないごみを出される場合があります。それらの違反ごみは回収されないのですが、出された方が判明しないことが多く、町内会で分別し直すなどの対応を取らざるを得ません。フロンガス使用製品や冷蔵庫などを、町内会で費用を負担して処分したこともあります。



山口市内の家庭から出されるごみの総量は年間約4万4000トンに上ります。これらのごみは、市民の皆さんに分別していただき、資源として再利用されることで、環境負荷の小さい循環型社会の構築を進めています。

一方で、分別や排出ルールに違反したごみが出されることも多く、集積所に残された違反ごみの処理が、町内会の大きな負担となっています。

2月後半から4月にかけて、年間で最も多くのごみが出る時期を迎えます。ごみ・資源の分別ルールを再確認し、正しいごみの排出にご協力ください。

☎ 資源循環推進課 ☎083・941・2185

## これらのごみは集積所に出してはいけません！

これから年度末にかけて、進学や転勤などに伴う引っ越しが多くなる季節を迎えます。引っ越しの際に出るごみは集積所に出してはいけないものもありますので、処分方法を事前に確認しておきましょう。

### 粗大ごみ

- ・指定収集袋に入らない燃やせるごみ
- ・一辺1m以上の燃やせないごみ
- ・一辺1m以上の金属・小型家電製品

[次のいずれかの方法で処分]

- ①市の処理施設に持ち込む
- ②市の戸別収集を申し込む
- ③ごみ処理業者に依頼する

詳しくはごみカレンダー 20、25 ページまたは市ウェブサイト参照。



### 除湿器などのフロンガス使用製品

[次のいずれかの方法で処分]

- ①販売店に引き取ってもらう
- ②ごみ処理業者に依頼する
- ③フロン類回収業者に依頼してフロンガスを抜き、フロンガスを回収したことが分かる証明書類と一緒に市の処理施設に持ち込む

詳しくはごみカレンダー 21 ページまたは市ウェブサイト参照。



### エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機

[次のいずれかの方法で処分]

- ①販売店に引き取ってもらう
- ②ごみ処理業者に依頼する
- ③自分で指定引取場所に持ち込む

詳しくはごみカレンダー 22 ページまたは市ウェブサイト参照。



この他にも、集積所に出してはいけないごみや市で処理できないごみがありますので、よく確認してください。

詳しくはごみカレンダーまたは市ウェブサイト参照。



## 正しいごみ・資源の出し方を確認しましょう

**3原則**  
ごみ・資源の出し方

**確認方法**  
ごみ・資源の出し方

- ①決められた日時に  
ごみ・資源の種類ごとに捨てる日を決められています。
- ②決められた場所に  
お住まいの地域ごとに定められた集積所に出しましょう。他の集積所にごみ・資源を出してはいけません。
- ③分別して出しましょう  
ルール違反のごみは回収されずに集積所に残されます。違反ごみは出した人が責任を持って処分してください。

▲友だち登録はこちらから

③ 山口市LINE公式アカウント

▲ iPhone 用

▲ Android 用

①ごみ・資源収集カレンダー（冊子）

収集日が分かるカレンダーのほか、ごみ・資源の分け方や出し方のルールを詳しく紹介しています。市報3月1日号に合わせて全戸配布しています。



圏域7市町のイベント情報

**美祿** 国立天文台監修の本格天体望遠鏡づくりと星座観察会

秋吉台で満点の星空観察！本格的な組み立て式望遠鏡と一緒に作成し、お持ち帰りいただきます（ウェブサイト申込フォームから要事前申し込み）。  
日時 2月17日（土）17時～21時  
場所 秋吉台カルスター（秋芳町秋吉11237-862）  
☎美祿市観光協会 ☎0837-62-0115

**山陽小野田** 山陽小野田ふるさと凧あげフェスティバル

日時 3月3日（日）①凧づくり教室…9時30分から（9時15分から受付）、②凧あげ競技…開会式10時30分、競技開始10時45分（9時15分から受付）※雨天中止  
場所 きららビーチ焼野（焼野海岸）  
☎山陽小野田ふるさと凧あげフェスティバル実行委員会事務局 ☎0836-82-1134

知れば、もっと楽しい！



見どころガイド vol.9

☎山口情報芸術センター [YCAM] ☎083-901-2222

音をめぐる冒険

YCAMでは開館以来、国内外の最先端の音楽表現などを紹介しています。昨年亡くなった音楽家の坂本龍一をはじめ、映画やテレビの劇伴などで活躍の目覚ましい大友良英など、数多くの音楽家がコンサートを行ってきました。またコンサート以外に、作品展示の形式でも音を扱った作品「サウンド・アート」を多数紹介しており、映画「レヴェナント：蘇えりし者」の音楽を坂本龍一らと手がけ、グラミー賞などにノミネートされたアーティスト、カールステン・ニコライらの展覧会も開催してきました。

近年は、館内の中庭を会場とした「sound tectonics installation（サウンド・テクトニクス・インスタレーション）」と呼ばれる展覧会シリーズを実施し、開放的な空間の中で、音を楽しむ機会を提供しています。現在、このシリー



YCAMの中庭の様子

ズの第7弾として開催している展覧会「気象を失う」は、クラブシーンから現代音楽まで活躍するDJの1729と、日本の俚伝（伝承）を基軸とした作品で知られる音楽家のSUGAI KENによるサウンド・インスタレーション作品の展示です。この作品は、根源的なものの作用による形象＝気象をモチーフとして、さまざまな場所で録音したサウンドが、天体の運行などさまざまな条件を加味しながら、中庭の中を縦横無尽に展開していきます。ぜひご来場ください。



YCAMのホワイエ。両サイドに中庭がある

**萩** 萩・椿まつり

期間中の土日・祝日には、椿見どころ案内人による無料ガイドや萩椿小町によるおもてなし、椿の苗木販売、クイズラリーもあります。  
日時 2月10日（土）～3月17日（日）10時～15時30分  
場所 笠山椿群生林（椿東越ヶ浜虎ヶ崎）  
☎萩・花ごよみ実行委員会（萩市役所観光課内） ☎0838-25-3139

**宇部** うべ地魚フェア～レンチョウまつり～

参加店舗で、「うべ産レンチョウ」を使用した対象メニューを注文して応募すると、抽選で宇部の特産品が当たるプレゼントキャンペーンを実施します。新鮮で肉厚な「うべ産レンチョウ」をご堪能ください。  
期間 2月1日（木）～29日（木）  
場所 市内の飲食店21店舗  
☎宇部市役所水産振興課 ☎0836-34-8362

**津和野** 太鼓谷稲成神社 初午キャンペーン

2月12日（月・休）の初午大祭にちなみ、伏見に稲荷神がご鎮座された日「初午」にスポットを当てた初午食の提供やコラボ御朱印の授与などを行います。  
期間 3月19日（火）まで  
場所 太鼓谷稲成神社など  
☎津和野町観光協会 ☎0856-72-1771

**防府** 防府市文化振興財団 設立25周年記念事業 ケロボンズファミリーコンサート

ミュージック・ユニット「ケロボンズ」のあそびうたや体操、歌とストーリーが一体となったミュージックパネル等で構成されるコンサート。  
日時 2月18日（日）14時開演（1時間程度）  
場所 三友サルビアホール（緑町一丁目9-1）  
☎防府市地域交流センター アスピラート ☎0835-26-5151

また、合同会社月虹の平田実代表社員は「地元の若者をはじめ、広島や福岡などからも人材が集まることを期待している」と述べられました。株式会社白狐動画の清水広行代表取締役は「現在いるスタッフの多くが山口市出身で、アニメーション制作



▲左から市長、県産業労働部 綱田企業立地統括監、合同会社月虹平田代表社員、株式会社白狐動画 清水代表取締役

12月19日（火）、合同会社月虹とグループ会社の株式会社白狐動画、本市が、県の立ち会いのもと、進出協定の調印式を行いました。調印にあたって、市長は「本市への進出をご決断いただいたことは、地元や地方でアニメーション制作に携わることが希望する若者たちの新たな雇用の受け皿となり、本市の地方創生の取り組みにも大いに貢献していただけるものと大変期待している」とあいさつしました。

合同会社月虹・株式会社白狐 動画の進出協定調印式を開催

1月7日（日）、令和6年山口市二十歳のつどいを山口市民会館で行いました。振り袖やスーツに身を包んだ参加者約1500人が式典に出席し、会場のいたるところで、再会を喜び合う姿が見られました。

令和6年（令和5年度）の二十歳のつどいを開催

株式会社白狐動画は、合同会社月虹の地方制作拠点として、令和5年7月に本市赤妻町に設立されたアニメーション制作会社です。令和6年1月に操業を開始し、4月までに地元を中心に10人程度の新規採用を予定されています。☎産業立地推進課 ☎0833-934-2813

☎社会教育課 ☎0833-934-2865



▲市民会館中庭で記念撮影をする参加者

また、参加者を代表し、松本光さん（鑄銭司地域出身）と、田中杏さん（大蔵地域出身）がそれぞれ、「専門学校で知識や技術を身につけ、生まれ育ったふるさと山口に恩返しをしたい」、「どのような困難があっても、そばで支えてくれる家族や友人、地域の方々への感謝を忘れず、未来への一歩を踏み出したい」と「二十歳の誓い」を発表されました。



▲式典が行われた市民会館大ホールの様子

式典で、市長は「めぐるしく変化を続ける社会の中で、自分の夢や希望の実現に向け、志を高く持ち、何事にも積極果敢にチャレンジしていただき、変革の時代を自身の力で切り開いてほしい」と激励しました。



書道パフォーマンスでは、地域を守る消防団の熱い気持ちが力強く表現されました。

表紙の写真は、1月7日（日）に山口南総合センターで行われた「消防出初式」の様子です。式では、長年消防行政に貢献された消防団員の表彰やまとい隊による演技、山口高等学校書道部による書道パフォーマンスなどが行われました。当日は、時折肌寒い風が吹く中、消防団員をはじめとした関係者を含め約1500人が来場しました。まとい隊の勇壮な演技に、観覧者から大きな拍手が送られました。消防団は、消防・防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、地域住民の安全を守るという重要な役割を担っています。式に出席した消防団員の凛とした姿やまなざしからは、誰かの役に立ちたいという強い思いが伝わり、防災の重要性について今一度見つめ直すきっかけとなりました。☎広報広聴課 ☎0833-934-2753

表紙の写真 「まちを守る、地域の力」



ウェブサイトでも公開中



建設工事特設サイト

現場ブログ・ドローン動画 公開中

## 鉄骨構造が立ち上がる 新本庁舎棟工事

昨年11月以降、上部構造となる鉄骨を建物の下階から順に0節（1階床）、1節（1階床～3階床）、2節（3階床～5階床）、3節（5階床～屋上階床）の4つに分割して搬入し、組み立てを行っています。3月末頃には、一部を残して、7階建て（地上6階・地下1階）となる鉄骨工事を完了する予定です。

令和5年度

令和6年度

本庁舎整備推進室

仮設工事 ▶ 杭工事 ▶ 基礎工事 ▶ 鉄骨工事 ▶ 内外装工事 ▶ 外構工事

☎ 083-934-4151

# 2月 イベントカレンダー

2/8 (木) ~ 12 (月・休)

### 阿知須のひなもんまつり

所 山口県央商工会阿知須支所  
周辺、阿知須商店街、いぐら造りの街並み周辺

問 山口県央商工会阿知須支所  
☎ 0836-65-2129

阿知須の「ひなもん」、和紙人形、絵手紙、手作り小物等の手作りアート作品を展示します。



2/17 (土) ~ 3/10 (日)

### 大殿ひなさんぽ

所 大殿大路周辺  
問 大路ロビー ☎ 083-920-9220

大内文化・明治維新の風情が残る大殿地域を、おひな様で彩ります。

2/18 (日)

### 中原中也記念館

開館 30 周年記念無料開館

所 問 中原中也記念館 ☎ 083-932-6430

開館記念日の2月18日は、無料で入館できます。また、来館者へ数量限定のノベルティをプレゼントします。

### 開催中のイベント

2/25 (日) まで

### 空間アートプログラム

「大内文化 思想をめぐる道」

所 香山公園 (香山町 7-1)  
問 観光交流課 ☎ 083-934-2810

大内氏を題材とした「和歌のカーテンゾーン」と「ステンドグラスゾーン」の2つの演出で覆われた空間内を歩くことで、大内氏の思想を感じていただけます。



おいでませ山口へ

令和6年能登半島地震の発生から1カ月が経過しました。このたびの地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、先月10日、ニューヨーク・タイムズ紙が発表された「2024年に行くべき52カ所」に、本市が選出されるといふ大変うれしいニュースが入ってきました。

今回の選出には、国宝瑠璃光寺五重塔をはじめとする西の京としてのまちのたたずまいや食文化、まちなか温泉である湯田温泉など、本市が有する多様な地域資源はもちろんです。こうした環境の中での市民の皆様のご日常の豊かさにも評価いただけたものと思っています。

本市にお越しいただく国内外の方々には、ありのままの山口市をのんびりと楽しんでいただけるよう、通訳やさまざまな表記の多言語対応、通信環境や決済サービスの充実など、オール山口でおもてなしの環境整備に努め、皆様を笑顔でお迎えしたいと思っております。

山口市長

伊藤和貴



©りおた

